

報道機関各位

福岡県初の快挙！

関門エリアが「世界の持続可能な観光地 TOP100」に初選出 フランスで北九州市の魅力を発信&北九州市長を表敬訪問

令和7年9月29日、2025年「Green Destinations TOP100」（世界の持続可能な観光地 TOP100）が発表され、福岡県北九州市を含む関門エリアが初めて選出されました。

これはサステナブル観光地の国際認証団体「Green Destinations」が、毎年、世界の持続可能な観光地 TOP100 を選出しているもので、このたび、関門エリアが福岡県として初めて認定されました。



関門エリアは、関門橋や関門トンネルなどを活用した「インフラツーリズム」を通して、山口県下関市と福岡県北九州市の様々な団体や事業者が連携したことによるエリアマネジメントが評価されました。この歴史的な快挙について、9月29日～30日の授賞式（フランス、モンペリエ）でプレゼンを行う「一般社団法人海峡都市関門DMO」と「門司港共創プロジェクトチーム共同事業体」が、下記日程で北九州市長を表敬訪問し、輝かしい栄誉を報告します。ぜひ、取材いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時：令和7年10月7日(火) 16:45～17:00
- 2 場 所：北九州市役所 本庁舎 5階 プレゼンルーム
- 3 訪問者：一般社団法人 海峡都市関門DMO
CMO 二宮 佳範 (にのみや よしのり)
代表理事 巖洞 秀樹 (がんだう ひでき)
ディレクター 末吉 春香 (すえよし はるか)

※全員、門司港共創プロジェクトチーム共同事業体を兼務

■Green Destinations TOP100

- ・GD（オランダを拠点とする国際非営利団体で、グローバル・サスティナブル・ツーリズム 協議会（GSTC）が認定した組織のひとつ）が世界中の持続可能な観光の国際基準を取り入れ、より良い地域づくりに努力している地域を 2014 年から毎年選出し、広く発信しているアワードです。

■Green Destinations TOP100 選出の主な効果

- ・Green Destinations のプロモーション支援やロゴの活用により、注目度の高い世界の持続可能な観光先進地として、国際的な知名度向上の機会に繋がる。

■関門エリアの選出・評価のポイント

【Destination Management（持続可能な観光地経営）部門】

- ・関門海峡エリアの地域連携への課題に対し、関門橋や関門トンネルを活用した「インフラツーリズム」を提案し、インフラ事業者を観光事業に巻き込むことで、関門エリア全体を一つの観光圏とするエリアマネジメントに貢献した。
- ・歴史や技術を深く学べるエリアとなり、今後も持続可能な発展が見込まれる。

【参考：日本の選出状況】

2024 年：5 エリア 京都府宮津市、山形県手向、岩手県遠野市、岩手県釜石市など

2023 年：10 エリア 愛媛県大洲市、神奈川箱根町、熊本県小国町、鹿児島県与論島など

■関門エリアの主な取り組み

- ・「関門エリアの持続可能な観光勉強会」の開催
- ・観光分野におけるインフラ事業者との新たな連携（インフラのバックヤード(保守用通路など非公開エリア)見学などのインフラツーリズムの開催)
- ・日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成文化財である門司港駅や旧門司三井倶楽部における、インフラツーリズムを起点とした歴史・文化体験の提供

【勉強会の様子】



【関門国道トンネル バックヤードツアー】



【お問い合わせ先】

1 市長表敬について

都市ブランド創造局門司港レトロ課

担当：彌榮（課長）、辻本（係長） 電話：093-322-1188

2 グリーンDESTINATIONS授賞式について

一般社団法人 海峡都市関門DMO/門司港共創 PT 共同事業体

担当：末吉（ディレクター） 電話：080-2685-0242